

「Japan Home & Building Show 2015」セミナーのご報告

1. 実施概要について

開催日:2015年11月19日(木)13:00~16:30

開催名:Japan Home & Building Show 2015 業界団体主催セミナー

場 所:東京ビックサイト東ホール

定 員:100名(事前登録制)

HP <http://www.jma.or.jp/jhbs/>

2. セミナーのご報告

① 13:00~13:30 「シニア世代の早めのリフォームと住み替えについて」

(一社) 高齢者住宅推進機構 業務部長 鹿島 陽介

当機構の業務・委員会活動の紹介、リフォームの動向はリフォーム&住み替えガイドブックを活用して、要介護状態になる前からの早めのリフォームのメリットなどを説明いたしました。



② 13:40~14:10 「求められる高齢者の健康維持増進住宅」

三井ホーム(株) 商品開発部 部長 住まいと暮らしの研究所 吉澤 敏幸

健康住宅には3つの要素があり、温度・湿度・空気を適切にする必要があります、例えば高齢者が入浴中の死亡者は交通事故の約3倍以上あり、住宅内の温度変化を少なくする必要がありますことなどを具体的に説明いただきました。



③ 14:20~14:50 「これからのインスペクションにおけるロボットの活用術」

大和ハウス工業(株) ヒューマン・ケア事業推進部 ロボット事業推進室
作業支援機器企画グループ グループ長 清水 真夫

定期点検時に戸建住宅の床下に潜り躯体の状況・シロアリの発生等を検査してきましたが、作業環境が過酷なため「Moogler」(モーグラー)が開発され、ロボットで検査することにより作業員の負荷軽減、顧客への満足度が上がった事例をわかりやすく紹介していただきました。



④ 15:00～15:40 「住まいの暖かさと健康に関する調査研究より」

(一財)ベターリビング サステナブル居住研究センター 副参事役 永野 浩子

高齢者の住宅内での死亡事故が多く、中でも浴室で溺死の半数以上が80歳以上の高齢者であること、日本の住宅の約3/4 は断熱性能が低いことなどが統計資料で説明していただきました。住宅内で滞在時間が長いリビングの断熱改修をすることで最高血圧が低下し、住まいを暖かくすることで健康に良い影響があることなどを具体的に説明していただきました。



⑤ 15:50～16:30 「木で造る介護施設」

三井ホーム(株) 大規模木造事業部 事業グループ マネージャー 大坪 浩二

木造(ツーバイフォー)建築は、環境・人にやさしいこと、耐火性に優れていること、税制面で軽減されることなどメリットが多く、デメリット面を考慮しても今後成長する分野であると説明していただきました。また、木造5階建て特別養護老人ホーム(延床面積約9,800㎡)の見学会のお知らせがありました。



当機構主催の「業界団体主催セミナー」が盛況の中、終了することができました。

講師の皆様にはご多忙の折、「Japan Home & Building Show 2015」にてご講演いただき誠にありがとうございました。

以上
文責 塩塚